



GASTRO MEDICA



株式会社GastroMedica

代表取締役社長

中澤 晋作

NAKAZAWA Shinsaku

Message

私たちGastroMedicaは、国立循環器病研究センター発ベンチャー第三号として循環器病領域で培った医学的知見を土台に、食を基盤とした予防医療の新しいかたちを切り拓き、生活習慣病や認知症に立ちかう革新的なプロダクトを社会に届けてまいります。



食と医の共鳴によって、病なき世界を実現し、あらゆる生命に生きる希望と健康の道筋を示す

研究の背景・目的

人類は古来より「病」と対峙し、その克服に取り組んできました。近代以降、感染症をはじめとする多くの疾患は、科学技術や公衆衛生の進展によって制御可能となっています。一方で、生活習慣や行動に起因する「生活習慣病」は、依然として世界的に増加しており、その発症予防や進行抑制には多くの課題が残されています。私達は、生命維持の根幹に位置づけられる「食」に医学的アプローチを融合することで、生活習慣病の一次予防および二次予防を実現することを目的としています。さらに、個々が自律的に健康に資する食や行動を選択できる社会基盤を構築し、持続可能な予防文化の確立を目指します。

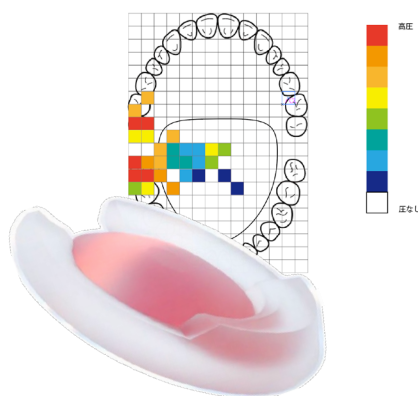
期待される効果・応用分野

○脳血流量改善ミストサプリメント：脳血流量を改善することで脳動脈狭窄の進行抑制や認知機能の改善に寄与し、生活習慣病や認知症の予防に応用できる可能性があります。

○咬合力可視化デバイス：口腔期の嚥下障害を検出することで誤嚥を予防し、口腔リハビリテーションの個別化を促進します。また、口腔フレイルの抑制に加え、小児の咬合指導や美容領域での応用も期待されます。

○高カロリーようかん：高齢者の低栄養予防をはじめ、化学療法中や妊娠中の患者における栄養補給、さらに運動後の効率的な栄養補給にも役立つことが期待されます。

研究内容



脳血流量改善ミストサプリメント(BraIN MIST)の開発

様々な病が克服されつつある現代でも、認知症および脳血管障害への対策は今も喫緊の課題です。

我々はポリフェノール化合物の一種である「レスベラトロール」が持つ脳血流改善効果（特開 2024-055852）を用いたサプリメントの開発を進めています。ミスト粒子での摂取を可能とすることで、嚥下困難がある高齢者も摂取が可能となります。

また、従来水溶化が難しいとされてきたレスベラトロールの水溶化にも成功しました（特許出願中）。味も、お茶やコーヒー、ワイン風味など、嗜好性の高いラインアップとしています。

咬合力等可視化デバイス(MOG MOUSE)の開発

高齢化や、がん、脳血管障害、認知症に伴い嚥下障害を持つ人は、日本に約80万人、世界では約6億人いると推計されています。「食べ物を安全に飲み込む」ためには、噛む力や舌で食べ物を潰す力・送る力などの複合的な動きを評価することも重要ですが、現状それらを備えたデバイスは存在しません。

我々は、口腔内の摂食能力を可視化するデバイスを開発しています。これにより、安全に食べられるものの硬さを知ることができたり、口腔内リハビリテーションの個別化に繋がります。

高カロリーようかん(PréYOKAN)の開発

「歳を重ねると食が細くなる」と言いますが、日本国内だけでも、65歳以上の5人に1人は低栄養の状態です。PréYOKANは、美味しく少量でカロリーを付加できるようかんです。1個40gという卵1個よりも小さい羊羹で、200kcalを確保できます。レスベラトロールを付加することで、脳血流改善効果も期待できます。

※画像はいずれも開発中のイメージです。

特許・論文等

○特許：W0/2024/075662 国際公開（出願人：国立循環器病研究センター）

※GastroMedicaがライセンスを取得

産学連携本部より 企業の皆さまへ

人々の健康を「食」と「医療」の融合で支えるという挑戦は、これからの社会に不可欠なテーマであり、生活習慣病や認知症、フレイルといった現代社会の重要課題に対し、予防医学の新たな地平を切り拓くべく取り組まれています。人々が自律的に健康を選択できる社会の実現に向け、多様な研究機関・企業との連携を希望します。

▶キーワード：生活習慣病予防、認知症予防、脳血流改善、嚥下障害、口腔フレイル、栄養補給食品、予防医療、医食連携